

第56号

20・2・1

文化部発行

広島市シニア大学院 OB会ニュース

発行責任者

OB会会長

大城 徳守

新

春

恭

賀



【夢の楽園をめざして】



会長

大城 徳守

(5班 40期)

令和初の正月を迎えられた会員の皆様には、誠におめでとうございます。ご健勝のこと、心より喜び申し上げます。

昨年は、日本中が「ラグビーワールドカップ」で、日本初開催の緊張も手伝い、オリンピックとは違う受け入れ体制が、例えば宿泊のこと、食事のこと、練習場の確保なども、各国から大勢が来日、ここまで世界のラグビー熱があるとは思わなかった。私のような俄ファンには、テレビ画面に映る光景は、予想以上のものであった。一方で、日本代表選手の面々も、史上初のベスト8進出を果たし、当初の目標を見事に達成した。

それにしても、ここまで盛り上がるとは。日本が絡んでいない試合にもかかわらず、スタンドは連日満員で、開催国サイドのマナーとしても、また遠来の客人を「もてなす」上で、これ以上ない最高のパフォーマンスになったのではないか。

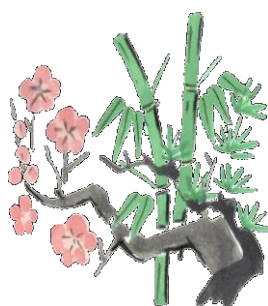
ところで、自己主張の強い外国人を「ワンチーム」の合言葉の下で、「桜」の文化を理解させながら、勝利のためには言いながらよく纏めたものである。選手たちの奮闘する姿は、誠に感動的で、スポーツが持っている力を今更のように感じた。

これから日本は、急激な社会環境の変化の中で、少子高齢化は益々拍車が掛かる。このままでは、労働力の再生産に支障を来たすということは、すでに40年も前から指摘されていた。いよいよ各方面で予想通り顕在化してきた。色々と問題はあろうとも、ここで一歩踏み出さなければ、更に不安は募る。

この度のラグビー界の成功は、先例として大いに良き示唆を与えてくれたのではないか。欧米とは、国の成り立ちがまるで日本とは違う、従って自らルールが異なってくるのは十分理解できる。それにしても、外国人枠を他のスポーツに先駆けて完全撤廃した勇氣と決断は、もっと称賛されてもいいのではないか。日本はこれまで移民問題に悩むことはなかった、先進国では稀なことである。しかし現実には、ジワジワと、一次産業、二次産業へと広がりを見せている。

戦後75年を迎え、これからの日本国のデザインをどう変えていくであろうか、次代の人達の活躍が誠に楽しみである。色々なことに興味を持ちながら、我々シニアもワイワイガヤガヤ、大いに語ろうではありませんか。

今後の皆様のご多幸をお祈りしつつ、新年のご挨拶とさせていただきます。



今年の安全祈願祭には128名が参拝され、大城会長による玉串奉てんの後、代表に合わせて拝礼を行った。



安全祈願祭

広島護国神社

1月7日（火）広島護国神社に於いて恒例の新年安全祈願祭を行った。会員の皆様の元気で健康、長寿を祈った。

今年の互礼会参加者は122名で、宴の前に全員で「1月1日」を合唱した。



新年互礼会

パルテにて開催

護国神社参拝後、互例会がパルテで行われました。

学習部ニュース

赤い羽根共同募金

十一月十五日（金）、OB会役員の協力を得て、紙屋町そごう前に大学、大学院の役員総勢五十名（内OB会十六名）で十二時から約一時間街頭募金を行いました。



OB会の受け持ち範囲はメルパルクとそごう前交差点〜パセーラまでと、道路をはさんだ県庁前バス停付近の4班に分かれて行いました。当日は天気も良く街頭募金日和でしたが、メルパルク方面はビルの陰で日当たりが悪く寒い募金活動となりました。

後日、社会福祉協議会よりお礼の言葉と、募金総額が約八万四千

円との報告がありました。

平和公園グリーン

ボランティア活動

十一月十九日（金）、晴天で十二月下旬の気温にも関わらず、百二十五（内OB会百四名）参加者の集合が早く、予定時刻より少し早めの九時五十分から開会式を行い、大学、大学院、OB会の三グループに分かれて清掃活動を行いました。



公園内は十一月二十四日（日）フランチスコ教皇の慰霊碑訪問があり、全般的に落ち葉は比較的少なく、主に歩道の清掃を行いました。

約五十分の清掃後、閉会式を行い解散しました。その後、複数の班では食事会が行われたそうです。



令和2年度講座講師の選任

一月十三日、執行部・事業部長等の選考委員により、会員から推薦のあった三十三候補をジャンル別に分けて、推薦者のコメントの紹介とインターネットで収集した情報から長時間の協議の末、十一講座の講師を選任しました。現在、各講師の希望時間やテーマについて調整中で、個々の講座内容が確定次第、講師の方々にお願い文書を

送付する予定で進めています。

今年度も各月も講座やボランティア活動を順調に消化できているのは、会員各位のご理解とご協力の賜物と、学習部一同感謝しています。

研修部ニュース

*秋の日帰り旅行

十一月二十二日（金）実施
行き先

山口市菜香亭／湯田温泉・ホテルかめ福／防府毛利邸博物館／毛利庭園／潮彩市場防府
今月号に感想文、写真を記載しております。

*一泊研修旅行決定

三月十二日（木）～十三日（金）の一泊研修旅行はアンケートをお願いしました結果、京都・大坂方面で、泉湧寺（霊明殿・御座所／雲龍院）・仁徳天皇陵古墳／堺市博物館です。

申込書は既にお配りしました。

申込みはA班二月五日（水）とB班二月十二日（水）の講座日となっております。多くの方の申込みをお待ちしております。

文化部ニュース

「OB会ニュース」の原稿の投稿ありがとうございます。また「きずなOB」は3月の講座日にお配りします。

総務部ニュース

*来年度への準備

来年度に向けて以下の準備作業を行っています。

1. シニア大学院2年生（対象者72名）の入会者の確認
2. 会員登録手続き
3. 事業計画作成
4. テキスト作成
5. 総会議案書の編纂・作成
6. サークル代表者会議準備

*班名変更について

大学・大学院生から、OB会会員になった時の班が分かりにくいとの意見が出ています。したがって、大学・大学院の名称との流れと合わせて、次のように変更します。



大学	1・2班	3・4班	5・6班	7・8班
↓	↓	↓	↓	↓
大学院	1班	2班	3班	4班
↓	↓	↓	↓	↓
OB会B班	8班⇒B1班	5班⇒B2班	7班⇒B3班	6班⇒B4班
↓	↓	↓	↓	↓
OB会A班	4班⇒A1班	1班⇒A2班	3班⇒A3班	2班⇒A4班

サークル活動の紹介

水墨画サークル(明墨会)

代表者 坂村 和子



水墨画サークル(明墨会)の皆さん

年月の過ぎるのは早いもので、大に入学して早や8年になります。最初の大学祭で水墨画を観て「こんなのが描けたら楽しいだろうな」と思い、2年生で入会しました。故、今田先生の口癖「箸が持てれば水墨画は描ける」、「水と墨があつたら何でも描ける。何でもよく観察すること・・・」等々、豊かな知識で指導してくださいました。

今はその今田先生の愛弟子、内海すみ子先生のもと十三名で頑張っています。墨の濃淡の表し方は勿論ですが、予定外の遊びの面白い手法、十二月は金網とハケ、モミジや虫くい、の葉など持つてこれ、紙に置いて墨や美しい色をふりかけ、形を浮き上がらせて部員を楽しませてくださいます。

OBですので皆さん少々高齢ですが、時には手より口ばかり動くこともあります。サークルは毎回到ぎやかです。さあ皆さん、墨の色彩で楽しみませんか。

活動日は基本的には第一、第三木曜日の13時～16時ですが、会議室の都合が悪い時は変わることもあります。

七宝焼きサークル

代表者 土居 光子

日本の物作りの原点である七宝焼き。痴呆予防と健康維持のため、楽しく学んでいます。場所は宇品公民館で第2・4火曜日に活動しています。少ない人数ですが楽しく作品作りに励んでいます。



七宝焼きサークルの皆さん

リズム体操・ゆり組

代表者 管 貴美子

掲載の写真は昨年12月19日の練習中の途中での集合撮影のものです。皆さんの年齢も70歳～90歳まで25名の混合のグループです。大勢の仲間のおかげで協力し、仲良く、楽しく動き頑張ることができ、とても元気です。また練習後の食事・会話も弾みます。

今年も一層努力し健康増進に努め、元気でいつまでも若さを保っていきたくと願っています。新規入会され一緒に動いてみませんか。歓迎します。



リズム体操サークル・ゆり組の皆さん

ハーモニカサークルの ボランティア活動

栗原 寿男 三十八期

初山さん(七班)がお世話されている仁保公民館のオレンジカフェに九日十三日に出演しました。七十名近くの方が参加されている会場で、川崎さん(八班)のクイズをまじえた軽妙な司会で、オープニングは「まつのき小唄」の替え歌で「ボケない小唄」。続いて「幼なじみ」、「故郷」、「涙くんさよなら」の三曲を演奏。藤野さん(七班)の「少年時代」、中川さんの(六班)の「大阪ラプソディー」の独奏を交えて、三十分にあわて演奏に合わせて

会場の皆さんに歌っていただきました。三回目の出演ということもあって会場の皆さんとの息もぴったり、大いに盛りあげられました。アンコールに「それ行カープ」を歌と演奏でエールを送りましたが、残念ながらCSへの進出はなりませんでした。



ハーモニカサークルの演奏風景

笑顔いっぱいの方から「良かったよ。また来てね」の声をいただき参加メンバー十二名も充実感に浸りながらのボランティア活動となりました。



大正琴サークル

代表者 火浦 澄子

大正琴サークルには毎年二、三人の入部者があり、現在は二十二人で楽しく活動しています。大正琴は数字譜なので楽譜が読めなくても、すぐに演奏できる楽器です。従って、初心者でもすぐに弾けるようになります。



大正琴サークル練習風景

曲は演歌、童謡、フォークソング、シャンソンなどいろいろなジャンルです。大正琴の良いところは、同時にいくつもの動作をするので脳の活性化につながります。活動内容はOB会の芸能祭、大学祭での発表、介護施設バラ苑の訪問などが中心で、赤松琴奏先生のご指導

の下、生涯学習を好きな曲とともに和気あいあいとした雰囲気練習しています。練習日は第二・四曜日、九時半から十二時までです。

OB会ウォーキングサークル

西地区奮闘記

西地区代表世話人 井尻芳信

令和元年九月、西地区がウォーキング世話人担当です。そこで三月二十六日付で西地区世話人の皆様に案内を出しました。「西地区が九月二四日(火)に三瀧寺ウォーキングを行います。そのプレウォーキングを行いますので五月一四日(火)午前十時にJR横川駅に集合願います」と。現在、OB会ウォーキングサークルの会員数は一五九名です。今回担当の西地区会員は四三名です。東・南・西・北・中地区と五地区が順次に年間八回のウォーキングを開催しています。

私たち西地区が九月に開催するため、全会員の皆様には七月の講座日に案内を提出しなければいけません(開催日の二カ月前)。五月のプレウォーキングで、最終行程を決めました。四班三六期の田原

正登さんが三瀧寺の和尚様と懇意ということであたつて頂きました。当日、三瀧寺社務所で九月二四日のウォーキングの時に、和尚様の講話をお願いし受けて頂きました。「さあ、一安心」とちょうど昼すぎになっていましたので、三瀧寺参道入り口からすぐのところの「三瀧茶屋」で昼を頂きました。そこで約六五名のお昼の予約をお願いしたところ、天井定食・刺身定食・天ぷら定食・温蕎麦定食を部屋を分けて、さらにキャンセルなしと強く念を押されました。

そして七月三日・十日の講座日に会員一五九名に差し込み印刷で個々の名前の入った九月の案内を配布しました。始めは申込書を受け取り、当日会費を頂ければと甘い考えをしていましたら、八月の時点で約七〇名の参加申込がありました。これでは当日の入金では収拾がつかなくなると考え、急きよ案内を出して九月四日・十一日で集金することとしました。そして、雨になれば三瀧茶屋の料理のキャンセルは効かないので、開催の三日前までは気象協会の天気予報とにらめっこする毎日でした。

最終的には八〇名の参加者と六名の人が食事をする事で何とか無事に、三瀧寺ウオーキングを好評のうちに終了できて本当に良かったです。そして関わって頂いた各世話人の皆様、そして参加いただいた皆様に感謝・感謝です。



投稿記事

班活動の報告

5 班副班長 今城 千鶴

東広島、広大キャンパス(マツダスタジアムの108個分・国立大全国3位)の広大な敷地に9学部、一五、一五五名が学ぶ広大大学祭に行きました。現役大学生から放たれる知と活のエネルギー！そして私たちシニア大学院OB生の達しているであろう？悠と熟が勝手にコラボの触れ合うひとときでした。また、大学祭では地域交流の

場として多数の出店でも賑わっていましたよ。

サタケメモリアルホールでは片岡鶴太郎氏の講演の聴講、そしてキャンパス内学食でのランチ。午後はCTCの名を持つ並木道の散策、博物館で旧、近、現代のあまたの資料展示の説明を受け、中央図書館(広島平和公園、資料館、市南北道路の設計者である丹下健三氏による設計)では、ありとあらゆる蔵書の宝庫に目を奪われたり!! 次世代を担う広島大学に学ぶ学生の諸君に大いなるエールを送りたいと思います。



初めての研修旅行

研修部副部長 立花みゆき

シニア大学に入学と同時に皆様のご協力をいただき、五年間副班長を務めさせていただきました。OB会入会後の研修部はどのような活動すればよいのかは全くわかりませんが、秋山部長のパワーと親切なご指導をいただき、何とか前に進むことができています。研修部の役割は、ひとりでも多くの方々に研修旅行に参加していただくこと、これに尽きると思っています。

研修旅行の四、五日前には部員で手分けして、参加者全員に集合場所と時間の確認電話をしています。これも秋山部長の責任感と愛情の証と感心しています。

そして第2回研修旅行は、令和元年十一月二十二日(金)に山口市菜香亭、湯田温泉・ホテルかめ福で豪華な昼食後、紅葉の名所・防府毛利邸博物館の見学と毛利庭園(国指定名勝)での散策を楽しんだ後、潮菜市場防府へ。新鮮な魚や野菜の買い物を楽しみました。



山口市 菜香亭



伊藤 博文



佐藤 栄作

参加者一〇一名、バス三台で実施しました。特に思い出に残っているのが菜香亭で、山口の迎賓館として明治十年から百二十年、広く親しまれた料亭を移築した建物で歴代総理大臣九人を含む二十九枚の「書」は圧巻でした。



「書」が架けられている大広間



潮菜市場防府

展望デッキ・恋みなど



1号車の皆さん

また、何より全員で事故もなく無事に帰ることができ、本当に安堵しました。最後に次回三月の二泊二日の研修旅行もみなさん健康にご留意され、一人でも多くの方の参加をいただけるよう、一生懸命努めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。



3号車の皆さん



2号車の皆さん

研修部よもやま話

研修部長 秋山 ツギミ

私が研修部に入部したのは老人大学へ入学した初年度からでした。私事ですが、入学した年の七月の二回の講座日が白内障の手術と重なり、班活動・部活動ともに内容も分らないままでした。八月の講座日には早くも班長さんが各部所に新入生を配部することと、研修部は旅行のお世話する部だとは何となく思い、遊ぶのが大好きな私にとっては無責任ながら、自分だけのことを考えていたのでしょう。「楽しもう」と思い、一にも二にも研修部へ……。

入部した限りはと、午年の私は走りっぱなしで、デコボコ道もなんのその。みんな友人と勝手に解釈して走り続けてはや七年が過ぎようとしています。私を引っ張って頂ける先輩たちの手の温かさに感謝・感謝です。お蔭様で私の班には旅行大好き人間が多数いらしたのも幸いし、現在に至っています。

来季入部をお考えの皆さん、遊ぶの大好きな方、この指とまれ！

これからもシニア大学全体の先輩

の皆さん、後輩の皆さんの楽しい一ページ、二ページと増やしていることを願ってペンを置きます。ありがとうございます。



季節歳時記

* おせち料理

おせち料理は江戸の粋やユーモアを凝縮した庶民文化から開花したものです。由来は正月の節供料理で、宮中の「お節供（おせちく）」の行事から来ています。お節供は文字を見るとわかるように節日に神に供えたもの。宮中では節日には神に神せんを供え祭り、

宴を開きました。

このように、おせち料理は宮中のしきたりが民間に広まったものですが、やがて正月にふるまわれるご馳走だけが「おせち料理」と呼ばれるようになりました。おせち料理の主な材料にはそれぞれいわれがあると伝えられています。

* 節分の豆まき

節分には豆をまきますが、これは中国の習俗が伝わったものとされています。豆は「魔滅（まめ）」に通じ、無病息災を祈る意味があります。昔、京都の鞍馬に鬼が出たとき、毘沙門天のお告げによって大豆を鬼の目に投げつけたところ、鬼を退治できたという話が残っており「鬼の目（鬼目＝まめ）」に豆を投げつけて「魔を滅する（魔滅＝まめ）」に通じるということです。豆まきは一般的に一家の主人あるいは「年男」が豆をまくものとされていますが、家庭によっては家族全員で、というところも多いようです。

訃報

令和元年9月より2年1月までに次の方々が逝去されました。

3班	31期	畑本	浩子	様
3班	27期	西尾	敏彦	様
1班	34期	小松	律恵	様



会員一同、謹んでお悔やみ申し上げます。



編集後記

令和最初の新年となった今年は東京オリンピック・パラリンピックが開催され、多くの競技で熱戦が繰り広げられることだと思えます。日本代表選手の活躍が期待されています。また、多くの国からたくさんの観光客の来日が予想され、日本の良さを知っていただく良い機会だと思っています。

さて今年度も紙面作りはかなり苦労しましたが、会員の皆様のご協力で紙面を埋めることができました。本当にありがとうございます。正直ほっとしています。

5月には新しい仲間を迎え入れて新体制がスタートしますが、「OB会ニュース」と「きずなOB」は会員皆様の投稿で成り立っていますので、今後とも記事の取材や投稿をお願いすることになりますが、引き続きご協力をお願いします。



